

(Check) 4. 助動詞 (2)

10 He may (have) gone out.

助動詞 + have + 過去分詞：現在から過去を推量する方法。それぞれの意味の違いを理解することが重要。

may[might] have + 過去分詞「～したかもしれない」、must have + 過去分詞「～したにちがいない」

can't[couldn't] have + 過去分詞「～したはずがない」

助動詞 + have + 過去分詞で過去の行為に対する現在の非難・後悔の気持ちを表す用法。

should have + 過去分詞「～すべきだったのに(しなかった)」 = ought to have + 過去分詞

need not[needn't] have + 過去分詞「～する必要はなかったのに(した)」

cf. The movie was great. You should have seen it. (その映画はすばらしかった。君も見ればよかったのに)

11 助動詞を含む重要表現

(a) You may (well) say so. may[might] well do 「～するのもっともだ。たぶん～だろう」

(b) I would (like) to study abroad. would like to do 「～したいものだ」

(c) I cannot be (too) grateful to you. cannot do too ... 「いくら～してもしすぎることはない」

(d) I would (rather) take a taxi than walk. would rather ~ (than ...) 「(…するより)むしろ～したい」

(e) You had (better) start at once. had better do 「～しなさい。～するのがよい」

他に、may[might] as well do 「～してよいだろう。～も同然だ」、cannot help doing 「～せずにはいられない」

might as well do as ... 「…するのは～するようなのだ。…するくらいなら～したほうがまだ」などがある。

BASIC

A

- (a) I'd like to do something for her. (訳) 彼女のために何かしてあげたい。11
(b) I'd like you to do something for her. (訳) あなたに、彼女のために何かしてあげてほしい。
 - (a) We need not have hurried (訳) 急がなくてもよかったのに(急いだ)。11
(b) We did not need to hurry. (訳) 急がなくてもよかった。(急いだからどうかは不明)
 - (a) He must be tired. (訳) 彼は疲れているにちがいない。07
(b) He must have been tired. (訳) 彼は疲れていたにちがいない。10
 - (a) She couldn't meet him yesterday. (訳) 彼女は昨日、彼に会えなかった。
(b) She can't have met him yesterday. (訳) 彼女は昨日、彼に会ったはずがない。10
1. (b) to do something の意味上の主語は you。3. (a) は現在についての推定、(b) は過去についての推定。
4. (a) は過去の事実。(b) は過去についての否定的な推定。

B

- She has every reason to be proud of her son. (彼女には息子を自慢する十分な根拠がある)
She may (well) be proud of her son. (彼女が息子を自慢するのもっともだ) 11
 - It is impossible that she said such a thing. (彼女がそんなことを言ったなんて、とてもあり得ない)
She (can't/couldn't) (have) said such a thing. (彼女がそんなことを言ったはずがない) 10
 - It's a pity that I didn't work so hard. (あまり熱心に勉強しなかったことは残念だ)
I (should) have worked harder. (もっと熱心に勉強すべきだった) 10
 - It would be better for you to see a doctor. (医者に診てもらったほうがいい)
You (had) (better) see a doctor. (医者に診てもらいなさい) 11
1. have every[good] reason to do 「～する十分な理由がある」 → 「～するのもっともだ」
2. It is impossible that ~ 「～はあり得ない(×不可能である)」 that 節中の動詞が過去形であることに注意。
3. It's a pity ~ = I'm sorry ~ 「～なのは残念だ」。should have + 過去分詞は、主語が1人称の場合は過去に対する後悔を表し、2人称・3人称の場合はその人に対する非難を表す。
4. It would be better for you to do 「あなたは～したほうがよいでしょう」 see a doctor 「医者に診てもらおう」

FURTHER

C

- ② You (can't) be too careful in choosing your friends.
cannot ~ too + 形容詞/副詞 11 in doing 「～する際には」 in choosing ~ = when you choose ~ (友達を選ぶ際には、いくら注意してもしすぎることはない)
- ③ It was a wonderful concert. You (ought to have come).
1 文目より、① ought to come, ② should come は文脈に合わない (すばらしいコンサートだった。君も来るべきだった [くればよかった] のに) 10
- ① You had (better not) keep company with him. (君は彼とは付き合わない方がいいよ)
had better ~ の否定形は had better not ~。~には原形がくる。11 keep company with ~ 「～と付き合い合う」 company には、「同席、同伴、交際、付き合い」の意味がある。
- ③ The streets are wet; it (must have rained) while I was asleep.
while I was asleep などで過去への言及。② might rain は不適。(might は現在・将来の可能性を表し、過去の意味ではない) ④は文脈に合わない。
(通りがぬれている。眠っている間に雨が降ったにちがいない) 10
- ④ Mary regrets keeping it secret. She thinks she should (have told) her friend the truth.
regret doing = regret having done 「～したことを後悔する」過去のことにに対する後悔。10
(メアリーはそれを秘密にしたことを後悔している。彼女は友達に本当のことを話せばよかったと思っている)

D

- 彼女が息子のことを心配するのも無理はない。
She (may well be anxious about) her son.
may well ~ 11 be anxious about[for] ~ 「～を心配する、不安に思う」 cf. be anxious for ~ 「～を切望する」
be anxious to do 「～したいと切望する」
- あなたが私にしてくれたことについては、いくら感謝しても足りません(十分に感謝することができない)。
I can (never thank you enough for what) you've done for me.
can never[cannot] ~ enough = cannot ~ too + 形容詞/副詞 「いくら～してもしすぎることはない」 11
thank A for B 「A(人)にBに対して感謝する」 what は関係代名詞。
3. 彼は私のかばんを、まちがえて持っていたのかもしれない。
(He may have taken my bag by mistake).
may have + 過去分詞 10 by mistake 「間違っ、誤って」 ⇔ on purpose 「意図的に、故意に、わざと」
- 私は、1人で行くよりもむしろここにいたい。
I (would rather stay here than go alone).
would rather ~ than ... 11 ~、…の箇所は動詞の原形。「むしろ～したくない」は would rather not + 原形。
- 幼い子供は、一晩中起きてはいけません。
Small children (had better not stay up all) night.
had better not + 原形の語順に注意。11 stay[sit] up 「(寝ないで) 起きている」 all night 「一晩中」
- 外にだれもいたはずがない。
(There can't have been anybody) outside.
There is[are] ~ の構文の is[are] の位置に can't have + 過去分詞が用いられた形。10
There can't have been ~ 「～がいた[あった]はずがない」